

波佐見の国指定史跡の畑ノ原登り窯にて窯焚体験

11月21・22日と長崎県波佐見町の畑ノ原遺跡にて矢田光徳センター長と山口夕妃子教授が本学大学院の留学生5名とともに窯焚体験を行ってきました。

この畑ノ原遺跡の登り窯は国指定の史跡ではありますが、毎年、この登り窯を活用して、焼き物を焼いています。薪で焚くという体験はガス窯との違いを改めて感じる機会でした。温度を上げることの難しさや薪の質によって焚き方が変わるなどを学びました。

またこの近くには、三方傍示石いわゆる三領石があり、江戸時代に大村藩（波佐見町）、佐賀藩（有田町）、平戸藩（佐世保市）が隣接し、領土を争った場所でもあるとのことでした。波佐見町の学芸員の中野雄二さんからお話を伺い、窯焚体験だけではなく、歴史的背景を学ぶ機会もあり貴重な体験をしました。

